

平成30年
第1回定例会
会議録
(第3号)

平成30年3月12日

平成30年第1回 江 差 町 議 会 定 例 会
(第 3 号)

◎ 期日及び場所

平成 30 年 3 月 12 日 (月) 午前 10 時 00 分 江差町役場 議場

◎ 議事日程

日程第 1 議案第 7 号～議案第 33 号
平成 30 年度江差町各会計予算並びに関連議案中

□ 教育委員会 (学校教育課・社会教育課) 所管分

○議案第 14 号 平成 30 年度江差町奨学金特別会計予算について

- 日程第 2 議案第 16 号 江差町財政調整基金の処分について
日程第 3 議案第 17 号 江差町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
日程第 4 議案第 18 号 江差町都市公園条例の一部を改正する条例について
日程第 5 議案第 22 号 江差町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
日程第 6 議案第 23 号 江差町老人ホーム設置条例を廃止する条例について
日程第 7 議案第 24 号 江差港マリーナ施設条例の一部を改正する条例について
日程第 8 議案第 25 号 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について
日程第 9 議案第 26 号 江差町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について
日程第 10 議案第 32 号 財産の無償譲渡について
日程第 11 議案第 23 号 財産の無償貸与について
日程第 12 議案第 7 号 平成 30 年度江差町一般会計予算について
日程第 13 議案第 19 号 江差町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
日程第 14 議案第 20 号 江差町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
日程第 15 議案第 21 号 江差町国民健康保険事業会計財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について
日程第 16 議案第 8 号 平成 30 年度江差町国民健康保険費特別会計予算について
日程第 17 議案第 9 号 平成 30 年度江差町後期高齢者医療特別会計予算について
日程第 18 議案第 27 号 江差町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
日程第 19 議案第 28 号 江差町介護保険条例の一部を改正する条例について

日程第 2 0	議案第 2 9 号	江差町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
日程第 2 1	議案第 3 0 号	江差町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
日程第 2 2	議案第 3 1 号	江差町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例について
日程第 2 3	議案第 1 0 号	平成 3 0 年度江差町介護保険特別会計予算について
日程第 2 4	議案第 1 1 号	平成 3 0 年度江差町公共下水道事業特別会計予算について
日程第 2 5	議案第 1 2 号	平成 3 0 年度江差町公設地方卸売市場事業特別会計予算について
日程第 2 6	議案第 1 3 号	平成 3 0 年度江差町港湾整備事業特別会計予算について
日程第 2 7	議案第 1 4 号	平成 3 0 年度江差町奨学金特別会計予算について
日程第 2 8	議案第 1 5 号	平成 3 0 年度江差町水道事業会計予算について
日程第 2 9	同意第 1 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
日程第 3 0	諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について
日程第 3 1	発議第 1 号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書の提出について
日程第 3 2	発議第 2 号	バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書の提出について
日程第 3 3	発議第 3 号	所有者不明の土地利用を求める意見書の提出について
日程第 3 4	発議第 4 号	土地改良法を改正し、必要な施策の推進を求める意見書の提出について
日程第 3 5	発議第 5 号	新たな森林管理システムの早期実施を求める意見書の提出について
日程第 3 6	発議第 6 号	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書の提出について

◎ 出席議員（12名）

議	長	打 越 東 亜 夫
副	長	小 笠 原 淳 夫
議	員	薄 木 晴 午
	〃	飯 田 隆 一
	〃	室 井 正 行
	〃	萩 原 徹 子
	〃	小 梅 洋 子
	〃	塚 本 眞
	〃	西 海 谷 望
	〃	若 山 明 廣
	〃	小 野 寺 眞
	〃	小 林 くにこ

◎ 出席説明者

町	長	照 井 誉之介
副	長	田 畑 明
教	長	太 田 誠
務	長	木 村 晃
財	長	斉 藤 敏 己
まちづくり推進課	長	出 崎 雄 司
町民福祉課	長	岸 田 礼 治
健康推進課	長	白 鳥 智 子
建設水道課	長	岸 田 雄 治
追分観光課	長	大 坂 敏 文
産業振興課	長	大 杉 則 明
税務課	長	安 田 克 臣
ひのき荘	長	梅 川 年 代
出納室	長	岸 田 真由美
学校教育課	長	中 川 智
社会教育課	長	尾 山 徹
総務課主幹		竹 内 強
まちづくり推進課主幹		畑 竜 哉

（議会事務局）

局	長	清 水 直 樹
書	記	秋 山 悦 子

※開始前に東日本大震災の黙祷実施

(議長)

おはようございます。

(「おはようございます。」の声)

(議長)

ただいまの出席議員は、11名です。

定足数に達しておりますので、会議は成立致しました。

(議長)

本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配布のとおりであります。

前に引き続き、提案説明がありました、平成30年度各会計予算並びに関連議案について、各所管の単位で補足説明を求め、質疑を受けることと致します。

(議長)

日程第1、議案第7号から議案第33号、平成30年度江差町各会計予算並びに関連議案中、教育委員会所管の予算及び関連議案について、一括補足説明を求めます。

「学校教育課長」。

「学校教育課長」(補足説明)

おはようございます。

私の方から、教育費のうち学校教育関係予算の説明をさせていただきます。個別事業毎に予算資料で、昨年とほぼ変わっておりませんが、主なものについて説明をさせていただきます。

予算資料18頁をお開き願います。293番と310番の小学校児童用机、小学校中学校児童生徒用机椅子更新整備でございます。251万1千円と40万5千円でございます。昨年に引き続き今年度も整備して参ります。3年目でございます。更新については、江差小学校低学年と南が丘小学校中学年、それと江差北中学校1年生分を予定してございます。

続きまして、296番の小学校管理費の中では、町内小学校の高圧引込開閉器の更新で298万1千円、それと小学校に配置されているAEDの更新に79万8千円等が含まれてございます。

297番の外国語指導助手配置558万円につきましては、今年7月いっぱい現在おります英語指導助手の契約期間が満了致しますが、引き続き再契約をするということで確認が取れてございます。

予算書19頁です。304番の小学校教師用指導書整備に70万円、小学校における30年度からの教科書改訂に伴う指導書の整備をするものでございます。

309番と322番の学校給食費助成425万1千円と246万9千円でございます。給食費の3分の1の助成に30年度より小学校で200円、中学校で300円値上がりになる分を上乗せした助成でございます。保護者の負担増はございません。

続きまして、312番の中学校管理費の中では、江差北中学校特別支援教室間仕切り壁改修に47万2千円が含まれております。

その他については、昨年度とほぼ変わりはありません。簡単ですが、歳出についての説明を終ります。歳入についても、大きく変わったものはございませんので、割愛を致したいと思っております。以上で、一般会計予算の説明を終ります。

引き続きまして、議案第14号、奨学金特別会計予算について、でございます。予算書、予算資料39頁の予算構成表で説明をさせていただきます。

平成30年度の奨学金会計予算は、歳入歳出それぞれ437万3千円を計上させていただきました。最初に貸付金ですが、高校生4人と大学生3人を基本としている新規貸付者7人分と、継続貸付者2人分の奨学資金として237万2千円を予算化しまして、全額を奨学基金からの繰入としております。次に、積立金ですが、貸付者からの償還金200万円と財産収入としての利子1千円を加えた200万1千円を奨学基金へ再度積立するものでございます。奨学金会計は、以上であります。

以上、簡単であります。学校教育関係の予算の説明と致します。

(議長)

はい、次、「社会教育課長」。

「社会教育課長」（補足説明）

おはようございます。

それでは、社会教育課所管の予算について、ご説明致します。予算書では、122頁から133頁、予算資料では19頁から20頁、ナンバー326番から350番までが社会教育課所管分となっております。

主な事業について、ご説明致します。最初に、329番、図書館事務について、ご説明致します。働く世代の図書館利用の利便性を高めるため、週2回、午後7時までの開館時間の延長をこれまで試行として実施してはりましたが、平成30年度からは完全実施と致します。また、今年度から5カ年にわたり、江差町の子どもの読書活動の現状分析と課題解決に向けた目標を定め、読書に親しみ、より良い読書環境を身につけるための方策と具体的な取り組みを示すべく、江差町子ども読書活動推進計画を策定致します。予算額は、624万4千円を計上しております。

次に、資料ナンバー330番、ミライ☆リーダー養成『夢限』プロジェクト事業についてです。この事業には、企業版ふるさと納税寄附金活用事業として200万円を計上しております。地方版総合戦略の中で定めている江差子ども未来応援プロジェクト事業の一環として、

著名人を招聘しての文化講演会や子どもたちとの交流機会を図る事業として取り組んで参ります。新年度は、講師として東京海洋大名誉博士で、テレビ出演などでおなじみの人気学者さかなくを軸に調整を図っていきたくと考えております。

次に、ナンバー333番、文化会館管理費についてです。主な事業は、文化会館施設の指定管理料として2,784万6千円を計上しております。新規事業として、トイレのウォッシュレット化を図ることを目的に60万円を計上させて頂いております。場所は1階ロビートイレに3基、女子2と男子1。また、小ホールトイレに3基、女子2と男子1を整備致します。その他、文化会館の利用促進補助として指定管理者への補助金50万、また文化会館排煙窓の補修工事として109万2千円を計上しております。総額3,192万8千円の計上となっております。

次に、ナンバー336番、無形民俗文化財保存伝承活動事業についてです。この事業は、無形民俗文化財である郷土芸能の保存伝承と後継者育成を図ることを目的として、これまで3回、文化会館を会場として開催してきました。新年度は、保存会の皆さんと今後の伝承活動のあり方を検討し、開催して参ります。予算額は35万1千円を計上しております。

次に、343番、江差マリンスポーツ開催事業についてです。マリンスポーツに親しむ場の創出として、江差港マリーナを会場として、7月下旬に2日間開催する予定となっております。一昨年から開催している事業ですが、参加者が年々増加しており、大変好評を得ている事業です。新年度は備品購入費として、スタンドアップパドルサーフィンと、ゴムカヤックを購入することとなっております。予算額は78万8千円を計上しております。

次に、344番、町内パークゴルフ場管理支援についてです。健康増進、地域コミュニティ向上の観点から町内3つのパークゴルフ場を管理している団体への支援として補助金を交付致します。運動公園を会場として管理する南が丘地区と、水堀地区で活動する団体については、各々10万円、柳崎河川敷で活動しているパークゴルフ協会については、300万円の補助金を交付する予定となっております。新年度は新たに、江差パークゴルフ協会から要望のありました仮設のトイレについて、1基増設し、環境整備に努めて参ります。予算額は391万2千円を計上しております。

次に、347番、陸上競技場第4種公認検定についてです。定例会資料の22頁、資料の19をお開きください。陸上競技場の第4種公認認定が、平成30年4月28日をもって認定期間終了となるため、新たに公認のための検定を受ける必要があることから、検定前の施設補修による不陸整正及び段差解消を行う工事としてトラック内に真砂土を平均10ミリ補充し、更に表面処理工を実施致します。予算額は418万3千円を計上しております。

次に、ナンバー348番、運動公園管理事業についてです。同じく定例会資料の22頁、資料19をお開きください。主な事業としては、町民野球場の照明全8基のうち4基に絶縁不良があることから、安定器13個の取替工事として185万5千円、運動公園街路灯安定器等補修工事に80万円を計上しております。予算額は1,183万4千円を計上しております。

次に、ナンバー349番、水堀町民プール管理事業についてです。主な事業として、プールろ過機内の6層のろ過砂の交換工事として、237万6千円を計上しております。交換か

ら8年を経過していることから、衛生環境面の改善を図ることを目的に実施致します。予算額は806万5千円を計上しております。歳出については、以上でございます。

次に、歳入ですが、予算書41頁から43頁をお開きください。雑入での歳入を見込んでおりますが、野球場広告掲出料として10区画分の45万6千円、また新年度から新たな歳入としてネーミングライツ料を30万円見込んでおります。以上で、社会教育課所管の予算説明を終わらせて頂きます。ご審議方、宜しくお願い致します。

(議長)

説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑希望ありませんか。

「小野寺議員」。

「小野寺議員」

はい、議長。

まず、最初に項目を触れます。学校教育かと思いますが、タブレットの関係。それから、学校の支援員の関係。それから、社会教育になると思いますが、パークゴルフの関係、文化会館の関係、一応4つお聞きしたいと思います。

それで、最初ですが、あの私時々、時々と言いますか、あの江差町教育委員会に関する事務の管理・執行状況の点検・評価報告書、これを読ませて頂いております。本当にあの参考になるとしたら、ちょっと語弊あるでしょうか。あの色々状況について、しっかりと検討されているのだと思うのですが。

最初に、タブレットについて、色々あの学校で子どもの関係で備えなければならないのは本当に色々多種多様だろうと思うんですけども、特にこのITと言いますか、最近の時代に合うとすれば、このタブレットの問題もそうかなという気がするのですが、この先程言いました報告書の中には、前段で学校備品整備等については、出来る限り学校の要望に応えるよう努めること、ということで、全体的なこと触れながら、個別のことについて、これも私、前にもちょっとあの聞いたことあったのですけれども、改めてこれに載ってましたので。校内無線LANの環境整備に併せ、ICT環境、タブレットの整備も計画的に検討すること、と、まさしく、そうだなと私も感じております。この点について、現時点で、教育委員会としての考え方をお聞きしたい、これが一つです。

もう一つは、子どもさん方の障がい児の学校での受入の状況についてなんですけど、特にどうしてもやっぱり支援員の問題を触れなければならない。まず、最初に、これも同じく先程の評価報告書、点検評価報告書にも書いてありますが、これもだいたい毎年同じような状況、触れていると思うのですけれども、各学校の状況を踏まえ、特別支援教育支援員の増員においても検討すること、と。これは、状況はそんなに変わってないという、そういう意味もあるのかもしれませんが、私もこれ何回か言っていることでもあります。まず、質問として、現状どうなのか。あの増える方向で検討されているのか、ということについて、お聞きしたい。これが学校教育の2点であります。

次、社会教育の点ですが、パークゴルフ、先程も項目説明ありました。これも、この間、何回か予算審議等で出ておりますので、質問としては、今、水堀も含めてなんでしようけれども、3つのパークゴルフ場のそれぞれちょっと多い、少ないがありますので、柳崎、ちょっと多い、少ないがありますから一概に言えないのかもしれませんが、あくまでも江差町として、団体に補助ということになりますので、そうすると、全体の経費に対して、一定のこういうことで、ということをやっていると思うのですが、まず、最初に全体の経費に、それぞれの団体がやっている経費にどれくらい、半分くらいの補助なのか、どれくらいの補助という風に見てしているのか、それともあの個々の必要な部分で個別に判断したのか、ちょっと全体の仕組み、もう一回整理して教えて頂きたい、というのが、パークゴルフです。

それから、文化会館。町長の執行方針、それから教育長にも触れておりますが、文化会館について、利活用、これはあのこの間、この数年、きっとやられている流れだろうと思うんですが。お金の出し方で言うと、予算書の利用促進事業補助、この50万円がきつとこのことだろうと、ですね、だろうと、思うのですが。色々事業考えられていると思うのですが、文化会館の利活用という側面からいけば、この補助というのは、江差町として、ちょっとごめんなさいね、江差町として何かやるところに直接補助する、という一つの利活用の流れ。それから、指定管理者がもしかしたら指定管理料の中で、その指定管理料の裁量の中で自分たちも自ら利活用という、利活用ということについても年間でやっている部分もきつとあるのかな。あのちょっと年間に、冬の暮れ、年の暮れとか年度末何回かあそこで子どもたちを対象の色々こうやっております。ですから、どれがいわゆる利活用で、どれが何て言うのでしょうか、文化会館のそのよく分からないのですが、利活用という側面でどういうようにまず括って考えているのか、ちょっと再質問で、ちょっと私としても利活用はこういう風に促進したら良いのじゃないかということは、ちょっと答弁聞いた上で再質問もするかもしれませんので、まず利活用について、教えて頂きたいなど。一応、4つです。

(議長)

最初に、「学校教育課長」。

「学校教育課長」

I C T環境整備、タブレット関係の部分のご質問でございます。今、現在、江差町教育委員会の方でI C T環境整備として予算を上げてございますが、各小中学校8万円位の予算を計上しております。これについては、各教室の方に実物投影機を全ての教室に配置しようということでの予算でございます、だいたい4年位続けておまして、これについてはだいたい整備がなっている状況でございます。あと、I C T関係では、パソコンにつきましては、教職員の方に全て1人に1台あたる様な形になっておりますし、あと児童・生徒用のパソコンでございますが、全小中学校で175台設置しております。1人当たりの児童・生徒数の人数でいくと2.9人と。全国平均では、6.2人ですので、結構充実、パソコンの台数については充実しているかなという風に考えております。それと、あのパソコンについても、更新時期も迫ってきている状況でございます、それに併せてタブレットへの変更というこ

とも検討しなければならないというものと考えておりますが、いずれにしましても、ICTを活用した学習活動、それを実施するためにですね、Wi-Fi環境を整備する必要がございます。まずは、Wi-Fi環境を整備してですね、その後、学校関係者とタブレットも含めた、含めて、どのようなICTの環境整備がいいのか、協議を重ねましてですね、計画的に整備を図っていききたいという風に考えておりますので、ご理解願います。

(議長)

はい、社会教育課長。

「学校教育課長」

あ、すいません。忘れました、もう一つあります。

(議長)

はい、追加。

「学校教育課長」

はい。

あの支援員の関係でございます。特別にあの支援を要するような子どもというのは、だんだん増えてきているような状況でもございます。今、現在、小中学校それぞれの学校に1人ずつ特別支援

教育支援員を配置しておりますが、私共もこの人数で十分という風には考えておりません。今後においてはですね、それらの児童・生徒の推移の方も見ながらですね、特別支援教育を充実させていくためにも、増員というものも考えていかなければならないという風に考えておりますが、現時点におきましては、あの加配教員だとか、時間講師、それらの教師による複数体制のT・T授業、そういうものをですね、各学校において臨機応変に対応して参りたいという風に考えておりますので、ご理解願います。

(議長)

はい、「社会教育課長」。

「社会教育課長」

まず、最初に、パークゴルフに関する町として全体の補助、全体の経費について教えて欲しいという内容ですが。あの3つの団体から収支決算書を頂いております。まずあの大きな柳崎のパークゴルフ場、江差パークゴルフ協会が300万の補助金で運営しておりますが、大きく人件費、賃金が、だいたい120万程度、物品で190万程度というような決算が上がっております。内訳色々ありますが、これで十分かどうかというのは、なかなか判断難しいところですが、やりくりして、皆さん協力して運営しているという風に聞いております。で、南が丘と水堀、各々10万円で、決算書頂いている中では、繰越もございますし、皆さ

んあの会員の方々、会費を頂いて、鋭意努力しているのかなという風に見ております。ただ、この補助金以外でも、教育委員会で出来る範囲の中で、援助についてはですね、お金に、補助金に見えない部分で援助していることも事実でございます。

それと、文化会館の利活用の促進でございます。今、指定管理者の舞台派遣に、この利活用の促進の補助ということで50万円を補助金として支給している訳ですが、舞台派遣がやっている事業、例えば11月の18日に昭和の唄コンサート、これは163名の入場がございました。また、あの12月の23日には、映画上映会「ミニオンズ」という子ども向けのこれ131名の来場がございました。これ無料で上映しております。その他、ミニ四駆の体験会、またこの後、3月の21日には大ホールで「文化会館で遊ぼう」というようなことも企画しておりますし、3月の29日は再度あの映画上映会で「Sing」という映画をですね、無料で上映する予定になっております。こういうことで、社会教育が行う事業以外、指定管理者の方ではもっともっと町民に文化会館に足を運んで欲しいというようなことで、企画をしているところです。じゃあ、社会教育課として、じゃあ文化会館の利活用、どういうことやっているのか、と言いますと、例えば6月の28日には大ホールで吉本のお笑い祭り、この時には525名の来場があったり、また小中学生の芸術鑑賞会、これ影絵の西遊記を小中学生に見せたり、この時は386名の来場があったり、その他、北海道の移動美術展なり文化祭、またシニアの学園祭、郷土芸能フェスティバル、こういう関係については、直接の社会教育が主催している事業となっております。そういう意味で、もっともっと活用して頂きたいということで、指定管理者にお願いしているところです。以上です。

「小野寺議員」

はい、議長。

(議長)

はい、「小野寺議員」。

「小野寺議員」

はい、ありがとうございます。順次、再質問致します。

まず、タブレットの関係ですが、分かりました。それで、課長、ちょっと教えて欲しいのですが、あのタブレットの件で最後にお話ありました、そのWi-Fi、確かにそうですね。それで、Wi-Fi、Wi-Fiというか、タブレットとWi-Fi、もう対になるものですが、逆にも、逆にWi-Fiのことを考えれば、その施設にとっては災害対応なども含めれば、本当にあの多面的に使うという意味ではそれ自体が必要というか、その地域にとってはですね、施設にとっては。それで、ちょっと教えて欲しいんですが、その点、これ学校教育で聞いていいのか、若しくは町長部局の方で、そういう部分の対応が何かうまくお金の関係でなるのか、ならないのか分かりませんが、その多分、タブレットを入れるとすると、Wi-Fiの経費がきつとかかるんですよね、きつとね。事務的に一定程度たたいていけるとすると、どの程度なのか、参考までにちょっと教えて欲しい。これが一つです。

それから支援員。何と言っていいのでしょうか。同じような論議、実はしていますよね。議長に怒られないように。財政課に今のお話ですと、多分、現場の状況は押さえながら増員も事務的、教育委員会としては、必要性を認めながら、しかし状況がこうだということは多分、財政の方でその予算が付いていないということなのかな、ちょっとこれ、こうなると、どこの問題なのでしょう。町長、副町長の部分なのでしょう。いずれにしても、今の学校の状況をどういう風に押さええて、しかも支援学級は一定程度、今江差町としてもきちっとなっている。しかし、支援学級にいかない子どもさん方でも普通学級で通級も含めて、本当に大変だなんていうことも含めて、やっぱり支援員の必要性っていうのはね、本当増えているのですよ。そこを、結果的にどう判断して現状になっているのか。これはもうね、こっちの顔でなくて、そっちの顔を見て言いたい、聞きたい。その点について、答えて頂きたい。

(議長)

はい。

「小野寺議員」

ちょっと、まだ、はい。これが2つ目ね。

それからパークゴルフ、あの課長代わって申し訳ないんですが、3年前、4年前、社会教育委員会、社会文教常任委員会でパークゴルフの関係で事務調査をしました。多分、その顛末、課長さん見ていると思うのですけれども、松前とか福島とかの現地調査も含めてですね。町が係わっている部分、江差のように団体がやっている分ということでは色々違いがあるんですけれども、その社会文教常任委員会の事務調査の部分ではもちろん江差の場合は、それぞれ団体が頑張っているところに、町としても、先程課長が答弁があった色々違いもありますのでね、可能な限りあの支援を願いたいと、この点についてはその後一定のご努力は町長の判断もあったのかもしれませんが。それはそれで認めます。

もう一つ、この時の報告の中で、先程課長もちょっと言っている、説明でもちょっとありましたが、いわば高齢者の生きがい、健康増進の関係でこれ本当に有効だという部分ですね、これは社会教育だけでなく、今日ちょっと町民課とか健康推進課がいらっしやいませんけど、これね、本当に江差町町長部局もしっかりとこのパークゴルフの位置付けを押さえ、教育委員会と町長部局と一体となって町民課、健康推進課と社会教育と一体となってパークゴルフ場を色々な点で支援してくということがね、本当に必要だと、私の一般質問でありましたけどね、これ以上介護保険料上げたくない云々かんぬんという、その点について、改めてね、ちょっとこっちの顔見ていきたいのですが、パークゴルフに関しての支援、もっとも色々点でしてもらいたいと思うのですが、その点についてお聞きしたい。

それから、最後、文化会館の利活用。分かりました。あのこの間色々努力されているのもあるのですが。あの3月の末にやります、あの子どもたちの遊ぶあれ、本当に私も一度顔を出したのですけれども、本当におもしろいとか素晴らしい取り組みだなと思いましたが、ちょっと提案的な再質問になりますけれども、もっと冬場、子どもたちが屋内で遊び場が足

りないと、映画見るとか色々分かります。もっともっと冬休みの間だとかですね、土日なども含めて、冬場もっと自由に、子どもたちがもしかしたら自分たちが創意工夫で遊べるようなことも含めて、そういう点での利活用を文化会館でもっともっと江差町として、教育委員会として、社会教育として、考えられないかなと思うのですよ、子どもたちの利活用。町民課長に言えば本当に子育て支援という関係で、もっとやってくれてあの言いたいのですが、居ませんので、子どもたちのために冬場、冬休み、子どもたちが屋内で遊び場所が無い、ということについての積極的なこの利活用、利用促進をあの考えられないかどうか、この点について、改めてお聞きしたいと思います。以上です。

(議長)

はい、「学校教育課長」。

「学校教育課長」

議員おっしゃる通り、あの学校につきましては、災害時の避難場所ということで指定をされてございます。現在、あの指定避難場所の学校向けで、総務省の補助事業でありまして公衆無線LAN環境整備支援事業というものがございます。この事業につきましては、体育館だとか特別教室、廊下等に、Wi-Fiのアクセスポイントを整備出来るものがございます。これに併せて補助対象外ではありますが、普通教室等でも活用出来るように何台かアクセスポイントを設置して、平時には教育用に使って、非常時には住民等の避難用に活用出来るICT環境というものの整備が出来るよう今、現在検討中でございます。予算につきましては、江差中学校を除く4校で多めに見積もって、大体800万から1千万位はその整備には掛かるんじゃないかという風に。

「小野寺議員」

持ち出し。

「学校教育課長」

持ち出しじゃないです。あの補助は、2分の1補助がありまして、対象外等除けばまた別でございますけども。一応そういうような状況でございます。

それと、あの支援員の部分でございますが、教育委員会としても町としても必要ないということでは考えておりません。この必要性については、十分認識しているということで、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい、「社会教育課長」。

「社会教育課長」

パークゴルフ、高齢者の生きがいということで、非常に今3つの団体で会員が200名を

越えております。皆さんあの仲良く、楽しく、連日時期になりましたら運動しているのは、十分承知しております。それで、社会教育としてみれば、補助金以外に、先程も同じような答弁になりますが、いわゆるお金で給付出来ない部分、環境面、先程あのトイレ、柳崎のパークゴルフ場、これを1基リースで増設すると。色々なそういう補助金で支給出来ない部分、あの何とか交付援助していきたいというような、環境面で。これはあの、水堀にしても南が丘にしても色々な要望で要望を聞きながら、出来る範囲で支援をしていきたいという風に考えておりますし、またあの町長部局とも、健康推進課ともですね、こういった連携が出来るか、新たに考えて検討していきたいなと思っております。

それと、文化会館。確かにあの冬、今年の冬は特に大雪で、非常に外で遊ぶ機会が無かったとは思いますが。ただ、教育委員会として、冬休み中にはまずスキーレッスン、これはもう1月役所がああ始まる前からやっております。小学生を対象にスキーレッスン、またあの1月の休みになりますと、子ども会のかかるた大会、これも1月の冬休み中に行われます。また、あの小学校が英語が導入されるってということで、小学校からイングリッシュミーティングというようなことで、小中学生を対象に、土曜日に役場に集まって頂いて、英語に親しもうというような授業もやっております。なかなかこの冬休み中の土曜、日曜、色々な行事が立て込んでおりますので、教育委員会が出来ない、そういう裾野の部分指定管理者の舞台派遣をお願いしているという現状ですので、ご理解の方、宜しくお願いします。

「小野寺議員」

はい、議長。

(議長)

「小野寺議員」。

「小野寺議員」

再再質問あの1点だけ。パークゴルフに関して、です。

どういう言葉を使っていいのかわか。あの、今課長おっしゃった通り、本当にあの色々直接、間接的な働きかけ方も含めて、本当にあの理解しているつもりです。それで、再再質問で、団体のそれぞれ団体が運営しております。この間、先程言った社文の事務調査でも色々話も出ておりましたし、この間、4年、5年経っておりますが、私も直接パークゴルフの関係者と直接若しくは間接的も含めて、色々聞き、見たりしております。総論的に言えば、風通しがなかなか良くない部分がある。やはり、ここはしっかりと補助している以上、補助するのと併せて町民に開かれたパークゴルフ、開かれたパークゴルフ場、開かれた町民の皆さんが使い、憩える、使えるスポーツ、ということも含めれば、本当にしっかりとその補助するという観点の中での団体の色々な風通しの悪いような部分も改善することに江差町としてもね、努力しなきゃならないと思うのですよ。どうもね、団体任せというか、まずいな。私は率直に思っているのですよね。その点について、なかなかちょっとこれ団体のことですので、あの難しい面もあるかもしれませんが、可能な限り、答弁出来るのであれば答えてもら

いたい、と思います。

(議長)

はい、「社会教育課長」。

「社会教育課長」

基本的に3つのパークゴルフ場各々が仲良く、楽しく、融和をもってですね、活動して頂きたい。ただ、あの色々なあのトラブルまたは相談ごとがあった場合に、我々はその声を聞く体制は常にとっておりますし、門出を開いております。ただ、あの行政がその管理に口出しをすることが、あの果たしていいのかどうか。やはりあの自分たちが運営している団体、団体の中でまずトラブルがあった場合はあの解決をして頂きたいというのが、基本的な考え方です。ただ、あのかとって相談に一切乗らないっていう事ではなく、これまでもですね、3つの団体から色々な相談を受けて、またあの教育委員会が間に入ることも多々ございましたので、今後ともそういう方針でやっていきたいと思います。

(議長)

はい、いいですね。

他に質疑希望ありませんか。

「薄木議員」

はい。

(議長)

はい、「薄木議員」。

「薄木議員」

スクールバスに関して質問します。

今年はね、特にあの何十年に一回っていう大変あの寒波が来まして、ホワイトアウトですね、その事件があったのは課長もご存知ですよ。そういうこと踏まえて、学校との、バスとの連携の仕方、そういうのをこれから見直していかなければならない事態があったと思うのですよね。そういうことに関して、学校教育ではどのような方向で進めていくか、その点1点をお聞きしたいと思います。また、何か明日あたりにバス会社とのその運行についての話し合いがなされるようですけど、やはり児童のためには、一番通学がしやすいことを考えて頂ければなと思うので、その辺の見解をお願い致します。

(議長)

はい、「学校教育課長」。

「学校教育課長」

スクールバスの関係です。恐らく議員おっしゃりたいのは、児童・生徒のスクールバス、バス停までの通学の部分で、ホワイトアウトだとか、吹雪の時の距離だとか大変だといった、恐らくそういう話だと恐らく思っています。一応、明日、スクールバスの会議が江差北小中学校でございます。その中でも、ちょっとその前に父兄の方からご意見として、バス停まで遠いんですと。それで、すごい吹雪の日だとかちょっと遠くてバスに遅れたと、そういうことも実際あったという話がありました。それで、出来ればバス停を少し家の傍に作って欲しいというような要望がございました。これにつきましては、学校の方にも伝えておりますし、まだあのこれから函館バス、バス事業者の方と契約になりますので、その前に明日の会議で、こういうことでどうですか、ということで皆さんに協議をして参りたい、ということで整えばですね、バス停を新たに作るだとか、そういうことについてはちょっとバスの方とも協議をさせていただきますし、その辺は決まり次第、そのような形にしていきたいという風に考えてございますので、ご理解願います。

(議長)

いいですか。

はい、他に質疑希望ありませんか。

質疑希望ありませんので、教育委員会、学校教育課、社会教育課所管の予算並びに関連議案についての質疑を終ります。

暫時休憩致します。

(暫時休憩中※職員入替)